

土砂防 だより



峠の色彩(静岡市)

- 新年度のご挨拶 2
- 平成29年度の行事予定 3
- 土砂災害防止月間
- 平成29年度砂防関係当初予算** 4
- あなたのまちの安全度** 6
- 土砂災害に対する警戒避難体制整備促進の取り組み 8
- 「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰** 10
- わがまち(裾野市・湖西市) 13
- インフォメーション 14
- 募集・お知らせコーナー 16
- 土木事務所企画班砂防担当者の紹介

速報 平成29年度 砂防関係当初予算

特集 あなたのまちの安全度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰



全国治水砂防協会静岡県支部

新年度の御挨拶

陽春の候、会員の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

4月1日付けで静岡県交通基盤部河川砂防局技監を拝命しました大滝です。このたび、全国治水砂防協会静岡県支部の常任幹事に就任しましたので、よろしくお願ひします。

さて、昨年は全国で過去10年で最も多い1,492件の土砂災害が発生しました。特に、4月の熊本地震、夏の東北・北海道で相次ぐ台風の襲来などにより、18名の方が犠牲になるなどの甚大な土砂災害が発生しております。本県では18件の土石流・がけ崩れが発生しましたが、2箇所で既設の擁壁などの防止施設により、崩壊土砂や倒木による人家への被害を未然に防ぐことができました。県ではこのように土砂災害から県民の生命と財産を守り安全で安心して暮らせる社会を実現するため、防止施設の整備などのハード対策を鋭意進めてまいります。

また、土砂災害警戒区域等の指定などのソフト対策も進めており、昨年度末で指定の対象となる18,581箇所の土砂災害危険箇所の内、14,330箇所の指定が完了し、今年度には基礎調査が終了する市町も出てきます。今後も、「土砂災害による死者数毎年0人」を目指し、土砂災害警戒区域等の指定を推進するとともに、住民の警戒避難行動が効果的に行えるよう、市町の避難勧告の発令や住民の自主避難などを支援する土砂災害警戒情報等の発表、基礎調査結果や危険箇所図等のインターネットによる公表、県民への防災知識の普及などソフト対策に取り組んでまいります。

いずれの施策につきましても、会員の皆様との協調、連携により初めて成果をなすものでありますので、会員の皆様方には、今後ともより一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

全国治水砂防協会静岡県支部 常任幹事 **大滝 和広**

静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課

TEL 054-221-3042
FAX 054-221-3564

河川砂防局技監

大滝 和広

☎3040

砂防課長

北沢 隆夫

☎3382

課長代理

杉山 一仁

☎3382

- 課長の代理
- 砂防協会、砂防ボランティア事務

砂防班

副班長 大野 正敏 ● 県単砂防事業 ● 災関緊急砂防事業 ● 伊豆東部火山群の火山噴火対策に関すること	マイクログ 班 長 西川 茂 ● 砂防班の総括 ● 直轄砂防事業の調整 ● 富士山の火山噴火対策に関すること
主 査 相場 啓嗣 ● 交付金砂防事業 ● 砂防技術基準	主 査 松村 昌広 ● 避難体制整備促進 ● 砂防関係指定地内行為許可の内 技術面の審査
主 任 杉山 隆太 ● 演習場周辺地区障害防止事業 ● 基礎調査 ● 警戒区域の指定	技 師 井出 宗一郎 ● 砂防指定地の指定 ● 基礎調査結果の公表 ● 情報基盤整備事業 ● 土砂災害防止の啓発

傾斜地保全班

班 長 油井 克之 ● 傾斜地保全班の総括 ● 直轄地すべり事業の調整	マイクログ 主 査 近藤 知訓 ● 地すべり事業(林野) ● 災関地すべり事業(林野) ● 県単急傾斜地事業 ● 地すべり区域の指定(林野)
主 任 村井 達郎 ● 交付金急傾斜地事業 ● 災関緊急急傾斜地事業 ● 急傾斜地崩壊対策の技術基準	主 査 佐藤 一樹 ● 地すべり事業(農地) ● 災関地すべり事業(農地) ● 地すべり区域の指定(農地) ● 急傾斜地の指定
技 師 山本 絢也 ● 地すべり事業(国交) ● 災関地すべり事業(国交) ● 土砂災害警戒情報	砂防協会 谷口 友香 ● 砂防協会関係の事務・経理

※指定地管理及び砂利・碎石関係事務等については、

河川砂防管理課 ☎3028 (課長) 瀧美 敏行

「河川砂防管理課」で担当します。

河川砂防管理班 ☎3034 (班長) 北山 真邦 (主査) 田中 宏和 (主事) 山本 貴之

※水防に関すること、交通基盤部内の防災対策の総合調整及び災害復旧事業の総括に関することについては、

同室内にある「土木防災課」で担当します。

土木防災課 ☎3033

【平成29年度の行事予定】

月日	時刻	活動	会場等
4月 19日(水)	11:00	全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	中島屋グランドホテル(静岡市)
5月 25日(木)	11:00	(一社)全国治水砂防協会平成29年度(第81回)通常総会	砂防会館(東京都)
// 31日(水)	14:15	全国治水砂防協会静岡県支部役員会	中島屋グランドホテル(静岡市)
// 31日(水)	15:00	全国治水砂防協会静岡県支部平成29年度(第72回)通常総会	中島屋グランドホテル(静岡市)
6月 1日(木)~7日(水)		がけ崩れ防災週間	静岡県内各地
// 1日(木)~30日(金)		土砂災害防止月間	静岡県内各地
// 4日(日)		土砂災害・全国防災訓練	静岡県内各地
// 10日(土)		みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)の開催	青葉シンボルロード(静岡市)
// 中旬		市町等砂防担当職員研修	静岡県内
8月24日(木)~26日(土)		市町長等砂防関係事業県外視察	北海道
10月 下旬		東海地区砂防協会支部長・砂防課長合同会議	愛知県
11月 月上旬		市町等砂防担当職員研修(現場研修)	静岡県内
// 28日(火)	11:00	全国治水砂防促進大会	砂防会館(東京都)
2月 中旬		第58回砂防および地すべり防止講習会	砂防会館(東京都)

※ 太字の行事について、会員の積極的なご参加をお願い申し上げます。

土砂災害防止月間 がけ崩れ防災週間

6月1日(木)▶30日(金)

6月1日(木)▶7日(水)

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害は、主に雨が原因となって発生します。梅雨時は雨が多く土砂災害が発生しやすい時期です。近年は頻発化する局地的豪雨による被害が増えていますので、雨が降りだしたら気象情報などに注意しましょう。

毎年、6月を土砂災害防止月間として、県民が土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、国、県、市町などの関係機関が連携し、防災パトロール、啓発チラシの配付、講習会を実施しています。

行事予定

6月1日~30日	急傾斜地パトロール(重点実施)
6月 4日	土砂災害・全国防災訓練
6月 10日	みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)の開催(青葉シンボルロード)
6月1日~ 9月15日	「土砂災害防止に関する絵画・作文」の 作品募集



平成28年度 みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)の様子

速報

平成29年度

当初予算

砂防関係
予算

94億9,846万円余

平成29年度当初予算が平成29年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆2,058億円で、前年度に比べ351億円の減、対前年度比97.2%でした。

砂防関係事業の予算総額は94億9,846万円で、前年度より約5,117万円の減、対前年度比99.5%となりました。主な内訳は次のとおりです。

1 一般公共事業 63億500万円(前年度当初比98.5%)

国の補助や交付金を得て、溪流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行うとともに、「土砂災害防止法」に基づく区域指定のための基礎調査等を実施します。

2 県単独事業 15億8,500万円(前年度当初比100.0%)

国庫補助事業や交付金事業に採択されない箇所について、砂防、地すべり防止、急傾斜地崩壊防止工事を実施します。

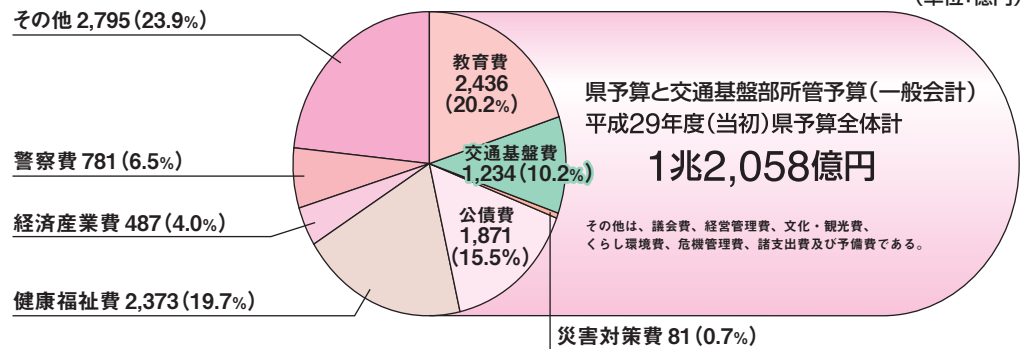
3 国直轄事業費負担金 16億600万円(前年度当初比144.6%)

富士山、安倍川、狩野川において、国土交通省が行う直轄砂防事業及び、由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

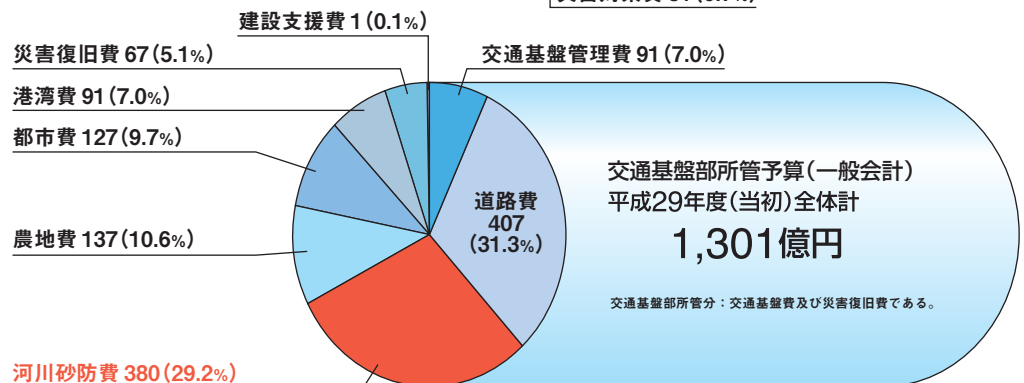
静岡県の砂防関係予算

(単位:億円)

● 県予算と交通基盤部予算 (平成29年度当初)



● 交通基盤部所管予算 (平成29年度当初)

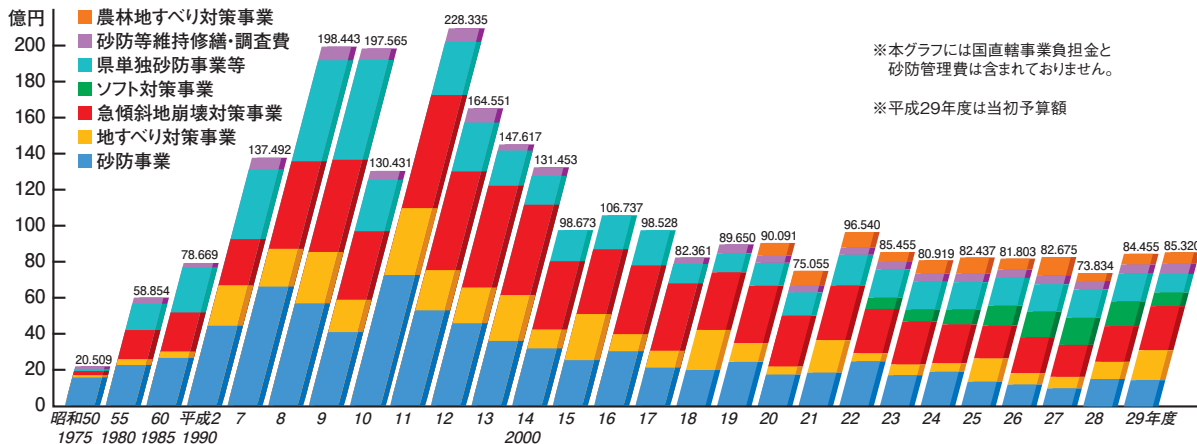


(単位:千円、%)

●平成29年度 砂防関係事業等予算額調書

事業名	平成29年度		平成28年度		A/B	A/C	
	当初	A	当初	B			最終
★ 砂防管理費 (第1目) 計	2,465		2,635		93.5	95.3	
砂防事業			75,000		皆減	皆減	
急傾斜地崩壊対策事業			375,000		皆減	皆減	
豪雨対策緊急事業			450,000		皆減	皆減	
河川改良費 (第2目) 計			450,000		皆減	皆減	
一般公共事業	防災安全交付金	砂防	657,300	548,100	811,751	119.9	81.0
		火山砂防事業	315,000	399,000	515,922	78.9	61.1
		火山噴火緊急減災対策	26,250			皆増	皆増
		砂防事業 計	998,550	947,100	1,327,673	105.4	75.2
		地すべり対策	333,900	342,000	683,535	97.6	48.8
		地すべり対策事業 計	333,900	342,000	683,535	97.6	48.8
		急傾斜地崩壊対策	2,266,150	2,038,000	1,975,687	111.2	114.7
		急傾斜地崩壊対策事業 計	2,266,150	2,038,000	1,975,687	111.2	114.7
		緊急改築(砂防)	63,000	52,500	11,550	120.0	545.5
		緊急改築(地すべり)	42,000	10,500	18,825	400.0	223.1
	情報基盤緊急整備	31,500	21,000	21,000	150.0	150.0	
	基礎調査	724,500	1,102,500	1,351,575	65.7	53.6	
	総合流域防災事業 計	861,000	1,186,500	1,402,950	72.6	61.4	
	効果促進事業(ソフト)	400	400	400	100.0	100.0	
	防災・安全交付金 計	4,460,000	4,514,000	5,390,245	98.8	82.7	
	事業	東富士演習場周辺地区障害防止対策事業	30,000	72,000	10,000	41.7	300.0
		特定緊急砂防		105,000	168,350	皆減	皆減
		特定緊急地すべり対策		321,000	247,800	皆減	皆減
		通常国庫補助事業 計		426,000	416,150	皆減	皆減
		災害関連緊急砂防	362,000	257,000		140.9	皆増
災害関連緊急地すべり対策		1,280,000	959,000		133.5	皆増	
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策		173,000	173,000		100.0	皆増	
災害関連緊急事業 計		1,815,000	1,389,000		130.7	皆増	
一般公共事業 計		6,305,000	6,401,000	5,816,395	98.5	108.4	
県単独事業		生活環境整備	通常砂防	378,000	408,000	408,000	92.6
	地すべり対策		54,000	64,900	64,900	83.2	83.2
	急傾斜地崩壊対策		592,400	509,000	509,000	116.4	116.4
	砂防			20,000	20,000	皆減	皆減
	地すべり対策			10,000	10,000	皆減	皆減
	急傾斜地崩壊対策					皆減	皆減
	災害緊急整備			30,000	30,000	皆減	皆減
	砂防			10,000	10,000	皆減	皆減
	地すべり対策			50,000	50,000	皆減	皆減
	急傾斜地崩壊対策			60,000	60,000	皆減	皆減
	緊急輸送路関連土砂災害対策		60,000	60,000	皆減	皆減	
	砂防等維持修繕	283,000	252,500	252,500	112.1	112.1	
	砂防等調査	168,600	167,600	167,600	100.6	100.6	
	砂防等台帳整備	11,000	11,000	11,000	100.0	100.0	
	生活環境整備事業 計	1,487,000	1,503,000	1,503,000	98.9	98.9	
	施設整備	80,000	64,000	64,000	125.0	125.0	
	指定促進対策	18,000	18,000	18,000	100.0	100.0	
	急傾斜地崩壊対策事業費補助	98,000	82,000	82,000	119.5	119.5	
	砂防県単事業 計	1,585,000	1,585,000	1,585,000	100.0	100.0	
	砂防	砂防	378,000	428,000	428,000	88.3	88.3
地すべり対策		54,000	84,900	84,900	63.6	63.6	
急傾斜地崩壊対策		690,400	641,000	641,000	107.7	107.7	
その他(維持修繕・調査)		462,600	431,100	431,100	107.3	107.3	
県単独事業 計		1,585,000	1,585,000	1,585,000	100.0	100.0	
砂防費 (第4目) 計		7,890,000	7,986,000	7,401,395	98.8	106.6	
一般公共		農地地すべり	217,000	217,000	269,287	100.0	80.6
		農地地すべり(災害関連分)	23,000	23,000		100.0	皆増
		治山地すべり	200,000	200,000	187,790	100.0	106.5
		治山地すべり(災害関連分)	65,000	65,000		100.0	皆増
	農林地すべり一般公共事業 計	505,000	505,000	457,077	100.0	110.5	
県単独	県単農地地すべり	63,000	63,000	63,000	100.0	100.0	
	県単治山地すべり	74,000	74,000	74,000	100.0	100.0	
	生活環境整備事業 計	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0	
	農林地すべり県単事業 計	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0	
	農地地すべり	280,000	280,000	332,287	100.0	84.3	
治山地すべり	274,000	274,000	261,790	100.0	104.7		
災害関連分	88,000	88,000		100.0	皆増		
農林地すべり対策費 (第5目) 計	642,000	642,000	594,077	100.0	108.1		
★ 国直轄事業費負担金 (第6目) 計	1,606,000	1,111,000	1,810,523	144.6	88.7		
合計		10,140,465	10,191,635	10,258,581	99.5	98.8	
合計から○を除く		9,498,465	9,549,635	9,664,504	99.5	98.3	
合計から★を除く		8,532,000	9,078,000	8,445,472	94.0	101.0	

●砂防関係事業費の推移



あなたのまちの安全度

静岡県は、山地が多く、地形的に急峻で、脆い地質が全県的に分布し、18,581箇所もの土砂災害危険箇所があります。

県では、土砂災害から県民の生命・身体を守るため、砂防えん堤・擁壁などの土砂災害防止施設の整備(ハード対策)とともに、定や、住民への危険箇所の周知(ハザードマップの配布等)、土砂災害警戒情報伝達機器の整備などのソフト対策を合わせた、

市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

(平成29年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土砂災害危険箇所数				土砂災害警戒区域指定状況				警戒区域 ハザード マップ
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計	
下田	下田市	261		348	609	236		315	551	550
	東伊豆町	32	8	65	105	22	6	55	83	77
	河津町	110	5	131	246	74		92	166	25
	南伊豆町	298	1	277	576	270		240	510	313
	松崎町	107	1	144	252	94		127	221	221
	西伊豆町	93	1	137	231	87		124	211	211
	小計	901	16	1,102	2,019	783	6	953	1,742	1,397
熱海	熱海市	105	1	189	295	96	1	146	243	232
	伊東市	105	2	248	355	105	1	198	304	303
	小計	210	3	437	650	201	2	344	547	535
沼津	沼津市	129		253	382	104		139	243	245
	三島市	21		102	123	22		65	87	29
	御殿場市	30		21	51	30		7	37	37
	裾野市	53		61	114	43		34	77	77
	伊豆市	586	12	590	1,188	487		383	870	484
	伊豆の国市	143	2	314	459	100		186	286	286
	函南町	37	1	105	143	5		19	24	11
	清水町	2		16	18	2		16	18	7
	長泉町	2		32	34	2		35	37	30
	小山町	47		82	129	47		57	104	104
小計	1,050	15	1,576	2,641	842		941	1,783	1,310	
富士	富士宮市	109	2	293	404	83		252	335	323
	富士市	54	2	175	231	52	1	158	211	188
	小計	163	4	468	635	135	1	410	546	511
静岡	静岡市	1,021	32	2,039	3,092	878	1	1,713	2,592	1,103
	小計	1,021	32	2,039	3,092	878	1	1,713	2,592	1,103
島田	島田市	240	46	545	831	194	9	478	681	684
	焼津市	33	1	61	95	25		48	73	73
	藤枝市	236	38	511	785	199		421	620	620
	牧之原市	41	5	421	467	39		303	342	342
	川根本町	59	10	198	267	42		163	205	173
	吉田町			13	13			6	6	6
	小計	609	100	1,749	2,458	499	9	1,419	1,927	1,898
袋井	磐田市	97		254	351	65		205	270	259
	掛川市	282	25	1,119	1,426	136	2	852	990	955
	袋井市	50		292	342	29		199	228	202
	菊川市	92	4	625	721	43		425	468	424
	御前崎市	16	1	353	370	10		315	325	284
	森町	93	17	463	573	56		338	394	3
	小計	630	47	3,106	3,783	339	2	2,334	2,675	2,127
浜松	天竜区	353	117	1,016	1,486	282	41	871	1,194	
	天竜区以外	221	20	1,339	1,580	158		1,001	1,159	
	浜松市計	574	137	2,355	3,066	440	41	1,872	2,353	1,309
	湖西市	5		232	237	2		163	165	163
	小計	579	137	2,587	3,303	442	41	2,035	2,518	1,472
合計	5,163	354	13,064	18,581	4,119	62	10,149	14,330	10,353	

■警戒区域ハザードマップ：土砂災害防止法8条3項に定められた、市町村が作成するハザードマップ



静岡県の土砂災害情報は、
<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/sabouka/dosyasaigaijouhoumap.html>
 でご覧になれます。

に、「土砂災害防止法」に基づく土砂災害警戒区域等の区域指
 総合的な土砂災害対策を進めています。

市町別ハード対策(土砂災害防止施設の整備)の実施状況

(平成29年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
		採択可能 渓流数	概 成 渓流数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)
下田	下田市	94	16	17.0				164	30	18.3	258	46	17.8
	東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	8	21.1	60	17	28.3
	河津町	53	14	26.4	5	2	40.0	44	13	29.5	102	29	28.4
	南伊豆町	119	11	9.2	1	1	100.0	131	40	30.5	251	52	20.7
	松崎町	71	7	9.9	1	1	100.0	77	22	28.6	149	30	20.1
	西伊豆町	64	18	28.1	1			67	19	28.4	132	37	28.0
	小 計	417	74	17.7	14	5	35.7	521	132	25.3	952	211	22.2
熱海	熱海市	91	17	18.7	1			95	14	14.7	187	31	16.6
	伊東市	82	23	28.0	2	1	50.0	110	26	23.6	194	50	25.8
	小 計	173	40	23.1	3	1	33.3	205	40	19.5	381	81	21.3
沼津	沼津市	96	20	20.8				128	71	55.5	224	91	40.6
	三島市	15	2	13.3				39	16	41.0	54	18	33.3
	御殿場市	8	6	75.0				3			11	6	54.5
	裾野市	23	10	43.5				24	6	25.0	47	16	34.0
	伊豆市	328	58	17.7	8	1	12.5	148	42	28.4	484	101	20.9
	伊豆の国市	74	4	5.4	1			82	31	37.8	157	35	22.3
	函南町	14	4	28.6	1			32	7	21.9	47	11	23.4
	清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
	長泉町	1						18	3	16.7	19	3	15.8
	小山町	35	10	28.6				37	21	56.8	72	31	43.1
小 計	596	115	19.3	10	1	10.0	522	198	37.9	1,128	314	27.8	
富士	富士宮市	66	18	27.3	1			81	23	28.4	148	41	27.7
	富士市	48	16	33.3	1	1	100.0	55	31	56.4	104	48	46.2
	小 計	114	34	29.8	2	1	50.0	136	54	39.7	252	89	35.3
静岡	静岡市	540	132	24.4	11	4	36.4	654	297	45.4	1,205	433	35.9
	小 計	540	132	24.4	11	4	36.4	654	297	45.4	1,205	433	35.9
島田	島田市	83	17	20.5	26	7	26.9	132	69	52.3	241	93	38.6
	焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	20	80.0	39	28	71.8
	藤枝市	69	28	40.6	27	8	29.6	117	62	53.0	213	98	46.0
	川根本町	23	4	17.4				33	14	42.4	56	18	32.1
	牧之原市	13	11	84.6	2	3	150.0	57	24	42.1	72	38	52.8
	吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
	小 計	201	67	33.3	56	19	33.9	367	191	52.0	624	277	44.4
袋井	御前崎市	1						33	18	54.5	34	18	52.9
	磐田市	20	1	5.0				33	4	12.1	53	5	9.4
	掛川市	39	2	5.1	11	7	63.6	102	25	24.5	152	34	22.4
	袋井市	7						30	11	36.7	37	11	29.7
	菊川市	9	2	22.2		1		84	34	40.5	93	37	39.8
	森町	23	6	26.1	5	2	40.0	26	4	15.4	54	12	22.2
	小 計	99	11	11.1	16	10	62.5	308	96	31.2	423	117	27.7
浜松	天竜区	128	49	38.3	66	24	36.4	306	78	25.5	500	151	30.2
	天竜区以外	43	9	20.9	5	4	80.0	281	64	22.8	329	77	23.4
	浜松市計	171	58	33.9	71	28	39.4	587	142	24.2	829	228	27.5
	湖西市							54	9	16.7	54	9	16.7
	小 計	171	58	33.9	71	28	39.4	641	151	23.6	883	237	26.8
合 計	2,311	531	23.0	183	69	37.7	3,354	1,159	34.6	5,848	1,759	30.1	

■土石流危険渓流はH15公表による危険渓流 I ■急傾斜地崩壊危険箇所はH15公表による危険箇所 I

土砂災害に対する

警戒避難体制整備促進の取り組み

1 土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害防止法に基づき、県では土砂災害警戒区域の指定を行っています。平成28年度は1,252区域を指定し、累計で14,330区域となっています。(P6「あなたのまちの安全度」参照)。

指定箇所について、市町は、警戒区域ごとの警戒避難体制に関する事項、要配慮者利用施設への情報伝達方法などを地域防災計画に定め、ハザードマップ等の印刷物を作成・配布することになっており、平成28年度末までに10,353箇所72.2%が完了しています。

県は、ハザードマップの作成事例や「土砂災害警戒区域における警戒避難体制整備ガイドライン」を配布するなど、市町を支援しています。

指定区域は、砂防課・関係土木事務所・関係市町で縦覧するほか、砂防課ウェブサイトで公開しています。

警戒区域の指定と対応状況

(平成29年3月31日現在)

市町名	土砂災害警戒区域	ハザードマップ配布	市町名	土砂災害警戒区域	ハザードマップ配布
下田市	551	550	富士宮市	335	323
東伊豆町	83	77	富士市	211	188
河津町	166	25	静岡市	2,592	1,103
南伊豆町	510	313	島田市	681	684
松崎町	221	221	焼津市	73	73
西伊豆町	211	211	藤枝市	620	620
熱海市	243	232	牧之原市	342	342
伊東市	304	303	川根本町	205	173
沼津市	243	245	吉田町	6	6
三島市	87	29	磐田市	270	259
御殿場市	37	37	掛川市	990	955
裾野市	77	77	袋井市	228	202
伊豆市	870	484	菊川市	468	424
伊豆の国市	286	286	御前崎市	325	284
函南町	24	11	森町	394	3
清水町	18	7	浜松市	2,353	1,309
長泉町	37	30	湖西市	165	163
小山町	104	104	35市町	14,330	10,353

2 「土砂災害・全国防災訓練」の実施：平成29年6月4日(日)

訓練は、集中豪雨による土砂災害が発生した場合に備え、警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を目的に、県内35市町において実施します(平成28年度は住民や行政関係者など約1万2千人が実動訓練に参加)。土砂災害警戒情報の発表後に住民が避難所まで避難するなど、実践的な訓練を主体に構成され、ハザードマップを活用した「避難場所」・「避難経路」の現地確認、避難行動要支援者に対する支援、土砂災害防止講習会なども実施します。

3 土砂災害防止講習会等の実施

被災を免れるには、行政からの防災情報に現地の実況を加え、住民の「適切な判断と行動」が必要です。このため、土砂災害についての知見をいざという時に活用していただくよう、県では土砂災害防止講習会や小中学校への出前講座などを行っています。また、土砂災害防止講習会の受講者の中から土砂災害危険箇所のある地区の受講者を「防災連絡員」として登録し、平常時の監視体制の強化や警戒避難体制の支援を図っています。

県職員が説明に伺いますので、市町で実施している防災講座等に積極的に御活用してください。

平成28年度 土砂災害防止講習会

開催日	主体	人数	開催日	主体	人数	開催日	主体	人数	開催日	主体	人数
4月26日	伊東市	25人	6月5日	函南町	94人	6月5日	森町	50人	10月27日	松崎町	7人
5月13日	掛川市	30人		沼津市	87人		6月5日	浜松市	46人	11月5日	掛川市
5月15日	静岡市	179人		伊豆の国市	111人	6月16日	藤枝市	123人	11月11日	伊東市	6人
5月22日	掛川市	60人		富士宮市	68人	6月26日	清水町	50人	12月4日	河津町	74人
5月29日	河津町	33人		島田市	59人	7月7日	清水町	60人		御前崎市	94人
6月5日	下田市	33人		焼津市	149人	7月13日	静岡市	10人	2月1日	浜松市	21人
	東伊豆町	157人		藤枝市	64人		静岡市	36人	3月12日	下田市	53人
	松崎町	101人		磐田市	120人	9月3日	静岡市	100人			
	西伊豆町	47人		袋井市	100人	9月8日	島田市	31人			
	熱海市	60人		菊川市	42人	10月22日	掛川市	50人			

4

活用しよう!!

「土砂災害警戒情報」で「早めの避難」

●土砂災害警戒情報を確認する!

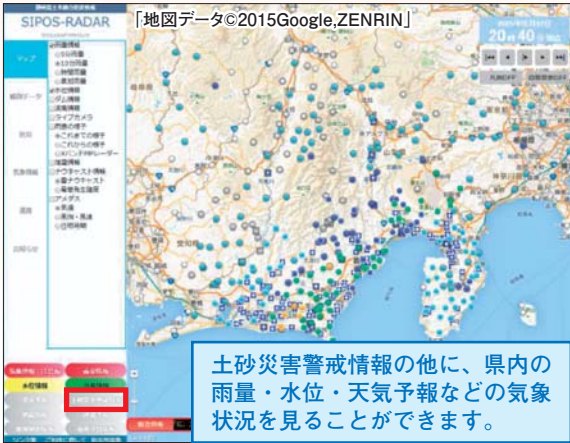
土砂災害警戒情報は地デジ、パソコン、携帯電話等にて確認することができます。土砂災害から命を守るためには、刻々と変化する気象情報をいち早く確認し、最新の情報をもとに行動を起こすことが重要です。

パソコンで確認!!

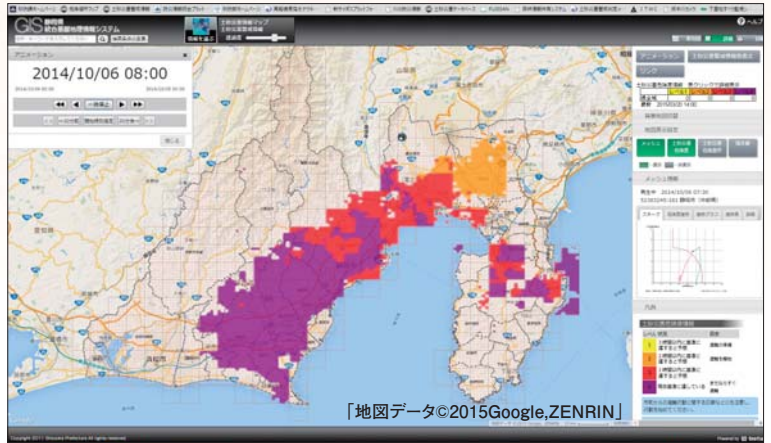
※サイポスレーダー (<http://sipos.pref.shizuoka.jp>)
・土砂災害警戒情報等の発表状況を見ることができます。

※土砂災害警戒情報補足情報システム

(<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1>)
・県内市町の土砂災害に対する切迫性を見ることができます。



土砂災害警戒情報の他に、県内の雨量・水位・天気予報などの気象状況を見ることができます。



「地図データ©2015Google,ZENRIN」

携帯電話で確認!!!

※サイポスレーダースマートフォン版 (<http://sipos.pref.shizuoka.jp>)
※サイポスレーダー携帯電話版 (<http://sipos.shizuoka2.jp/m/>)

・下記コードを携帯電話で読み取ってください。

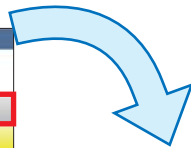
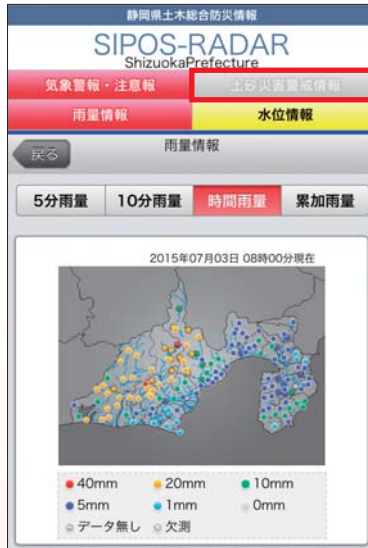


スマートフォン版



携帯電話版

スマートフォン版



・土砂災害警戒情報の発表文を見ることができます。



5 手作りハザードマップで防災力向上を図ろう!

災害が発生する前に避難することは非常に困難です。しかし、「地域全体で避難する」ことにより、地域全体で災害を防ぐ事が非常に有効な方法といえます。

この「地域全体で避難する」ため、地域全体での防災力を向上させる方法には、「手作りハザードマップ」作成が非常に有効な方法となります。

みなさんも、地域全体で危険な場所等を話し合い、「避難場所」や「避難路」を確認し、地域独自の「手作りハザードマップ」を作成してみてください。



H28年度 R-DIG訓練状況(藤枝市)

平成28年度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰

平成28年度に、土砂災害防止月間の取組みの一環である「土砂災害防止に関する絵画・作文」を募集したところ、静岡県内では、77点の作品の応募がありました。県内における地方審査の結果、6作品が入賞しました。

3月27日に県庁で行われた表彰式では、ご家族の方々が見守る中、静岡県交通基盤部長より入賞された皆さんに表彰状が授与されました。



受賞者と交通基盤部長、河川砂防局技監の集合写真



静岡県知事賞の佐藤のんのさんの表彰風景

■栄えある受賞者のみなさん

賞	部門	学校名	学年	受賞者名
静岡県知事賞	中学生 絵画	静岡市立籠上中学校 <small>かごうえ</small>	2年	佐藤のんの
静岡県交通基盤部長賞	中学生 作文	富士宮市立上野中学校 <small>うえの</small>	2年	藁科 胡太 <small>わらしな こうた</small>
全国治水砂防協会 静岡県支部長賞	中学生 絵画	小山町立北郷中学校 <small>きたごう</small>	2年	原 正英 <small>まさひで</small>
	小学生 作文	静岡市立大河内小学校 <small>おおこうち</small>	6年	山下 温葉 <small>あつ は</small>
	小学生 作文	静岡市立梅ヶ島小学校	5年	藤井 徳包 <small>なる しげ</small>
	小学生 絵画	静岡市立賤機中小学校 <small>しずはたなか</small>	5年	大石 晴展 <small>はる のぶ</small>

※学校・学年は応募当時のものです。

(敬称略)

静岡県知事賞〈絵画の部〉

静岡市立籠上中学校 2年 佐藤のんのさん



全国治水砂防協会静岡県支部長賞〈絵画の部〉

小山町立北郷中学校
2年
原 正英さん



静岡市立賤機中小学校 ▶
5年
大石 晴展さん



静岡県交通基盤部長賞〈作文の部〉

「災害は隣合わせ」 富士宮市立上野中学校 2年 藁科 胡太さん

日本は、現在災害大国です。熊本の地震や記録的な大雨による鬼怒川決壊、日本各地で、台風や発達した低気圧によって猛烈な雨が降り、集中豪雨による被害などがテレビで連日災害ニュースを放送しているのを目にします。本当にいつ自分が自然災害にあうかわからない現状です。

僕が住んでいる地区は自然豊かな土地ですが、山と川に隣接しています。数年前、台風が猛威を振り大量の雨をもたらしました。家から二百メートルほどの所に川があるのですが、この川は、川幅狭めですが高さがあり、普段は水の量も少なく、富士山からの湧水もあり、いつもきれいな水が流れています。近くにはマスの養鱒場もあり、豊かな水をたたえています。普段、この川の流れは、家から見えることは絶対ないはずなのに大雨のその日は、凄まじい轟音とともに濁流が見えました。正直恐ろしかったです。うねりをあげた川の流れ、その流れから聞こえてくるゴーゴーという水の音、そして吹き付ける雨の音とすごい風、自然が襲ってくるようでした。川向こうは山のため、水かさが増し川岸に生えていた木々をなぎ倒し大木をも流していく川の勢いは計り知れないものでした。これに自分が呑み込まれてしまったらと考えただけでも恐ろしくなりました。結局この時の豪雨で川にかかっていた橋は流されてしまいました。普段穏やかな場所でも、突発的な自然災害によって危険にかわることもあるということを身近に経験することとなりました。そして、いまだに橋はかかっていません。やっと護岸工事ははじまりました。

日本には、土砂災害防止法という法律があり、土砂災害から国民の生命を守るための法律があります。いろいろな調査実施を行い、土砂災害警戒区域を指定してさまざまな取り組みをしてくれています。富士宮市にも警戒区域に指定されているところがあることを調べてみました。全国各地、土砂災害危険箇所は年々増えていく一方らしく、整備が追い付いていかないのが現状らしいです。流されてしま

った橋もそうですが、確かに、よく通る県境の道沿いの山が大雨によりがけ崩れになり修復工事が行われていましたが、一年以上かけて工事整備されていました。危険と判断されても、整備には時間と費用がかかるのでなかなか進まないのかもしれないと感じました。

では、例えばこのような災害、大雨や台風の直撃、はたまた地震や噴火を受けそうになったときに、もしくは災害にあったとき、僕はいったいどうしたらよいのだろうか？土石流、やがけ崩れ、地滑り、その他の自然災害、これらに対抗できる手段は？と考えると、僕の力で自然災害は止めることはできず、自然に対しては無力です。だからこそ今の僕にできること、それは避難することしかありません。土砂災害警戒情報が発表されているときには家の周囲の状況や雨の降り方に注意し、危険を感じたら自主避難を決断することも命を守るうえで、とても大事なことと感じます。僕の家には祖母がいます。たまに足が痛くて杖をついたりすることがあります。もし万が一災害にあったらそして避難することを考えなくてはならなかったら、まず祖母の動きを考え、早めの避難をこれからは考えていきたいと思います。

僕は毎年、地域の避難訓練に参加していますが、訓練も大事な防災だと感じます。避難する場所や安全な場所を家族みんなが把握しておくことが大切です。中学生になってからの避難訓練ですが、近くの養護老人ホームの方々に避難誘導する訓練のお手伝いも行くようになりました。お年寄りや、身体の不自由の方の避難はとても大変です。施設の方々だけではとてもやりきれものではないです。災害時には、地域の人たちを助けること、助けあうことの大切さも訓練を通じて感じました。

災害がないことが一番ですが、自然相手ではどうしようもないし、いざ災害に遭遇すると想像もできないことがいっぱいあります。周りの状況を見極め、早めの判断や決断をし、無理せず自分にできることを行い対処することを心がける努力をこれからはしたいです。

「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰

全国治水砂防協会静岡県支部長賞〈作文の部〉

「自分の命を守るために」 静岡市立大河内小学校 6年 山下 温葉 さん

私の住んでいる地区は、山にかこまれていて、道路での土砂くずれなどがよく起こります。そのせいで、土砂が道路をふさぎ、通行止めになることが多くあります。いつ土砂災害が起こるのかわからなく危険だと思ったので、土砂災害防止について考えてみることにしました。

私は、本やインターネットを使って土砂災害はどんな災害か調べてみることにしました。そして、私の家のまわりは土砂災害が起こりやすい場所がたくさんあり、とても危険だということがわかりました。確かに、自分の家の近くの道路を思い出すと、土砂災害の注意や危険を知らせるための看板があります。

去年の総合学習の授業で河川事務所の方たちから土砂くずれや土石流のことについて、くわしくお話を聞かせていただきました。土砂災害でできる土砂の量や、土砂災害の危険なところなどのことを教えていただきました。そこから私は土砂災害は人の手では完全に防げないのではないのかと土砂災害がとてもこわくなりました。土砂災害が起こる危険がある場所はたくさんあります。全ての場所を土砂災害から防ぐことができるまで何年かかるのでしょうか。たくさんの時間が必要です。だからといって土砂災害がいつ起こるのかわかりません。だから私は土砂災害は完全には防げないと思いました。

では、今どんなことをして土砂災害に備えているのか、対策について調べてみました。すると、「砂防えん堤」を設置していることがわかりました。砂防えん堤とは流れ落ちて来る土砂を貯め、砂防えん堤から下流へ土砂が流れ出さないようにするためのしせつです。私の住んでいる地区にも砂防えん堤があり、見てみるととても大きく、どんな岩や土砂が流れ落ちて来ても受け止められそうでした。砂防えん堤なら、私達の命が少しでも救われると思い、これからも砂防

えん堤を増やして行ってほしいと思いました。

でも、土砂災害はいつ起こるのか分からないので、私達は自分達なりの身を守る方法を考える必要があると思います。私が考えてみると、四つの「私達にできること」が挙げられました。

一つ目は、土砂災害が起きたと想定して訓練をすることです。訓練をすることで、本当に土砂災害が起きた時にどう避難すればいいのかが分かります。そして、もっと安全に避難をしたり、身を守れたりするのかを考えることができます。

二つ目は、雨がふった時や台風の時に注意の気持ちを持つ意識をすることです。雨がふると作業をしていない山などは、土が水を吸収し、くずれやすくなります。なので、雨がふった時は特に注意をする気持ちが必要だと思います。

三つ目は、自分の家の周りでどこが危険なのかを明確にし、知っていくことが大切だと思います。本当に土砂災害が起きた時にどこが危険なのかを知っておくと、避難するために歩く道を変えられることができ、安全に避難できます。

四つ目は、いつ起こるか分からない土砂災害から身を守るために、水や非常食を用意しておくことです。いざという時に水などを用意しては、すばやく非難ができません。なので、自分たちの命が危険となります。そうならないためにも避難をする準備をすることも大切だと思います。

私は、ささいなことでも本当に土砂災害が起こった時に命につながると思います。一人一人が土砂災害から身を守るためにできることを考え、実践することが大切だと思います。私は、土砂災害で命を落としたり、けがをしたりする人が少なくなることを願っています。

「土砂災害の対さく」 静岡市立梅ヶ島小学校 5年

今年の一ヶ月。ぼくは兄の部活の練習についていきました。場所は、静岡駅の南側の小鹿というところ。帰る時、こ間の先生が、まっ青な顔で「土砂くずれが起きて、家まで帰れないかもしれません。」と言いました。ぼくの家は、静岡駅から北の方に車で一時間くらい走った山間地、梅ヶ島にあります。と中からは一本道で、それが土砂でうまってしまふと帰れなくなってしまいます。お母さんは「とにかく帰れるところまで行ってみよう。」と言ったので兄とぼくは、急いで車に乗りました。予想通り、一本道になった所で通行止めの表示がありました。ライトを持ったおじさんが「通行止めだよ。帰って!」と言いました。するとお母さんが「この先が家だからね。」と困ったように言うとおじさんは「じゃあ、少し待ってくれる? 通せるかもしれないから。」といったので待ちました。よく見ると、近所に住むおじさんやおまわりさんが一生けんめい働いていました。しばらくすると車で通行することができ家に着いた時はホッとしました。

お母さんは、去年も土砂くずれがあったねと、小中学校の卒業式の前日におきた事を思い出していました。その時は、今までに経験したことのない長時間、停電しました。卒業生でまちの方に出かけていた人がいて、卒業式に出られなくなってしまったのでえん期しました。停電したので家中の電化製品が使えなくなりました。スマホの充電に困った近所のおばさんが家に来ました。電話が通じないので、町内の連絡は一けんずつ回ってしまいました。土砂くずれで、こんなに不自由な生活になってしまうのだと思いました。

今年、梅ヶ島でおきた土砂災害から五十年になるということで、小学校の体育館で記念式典が行なわれました。ぼくは五十年前の台風で旅館が土砂にうまり多くの死者が出たということをはじめて知り

藤井 徳包 さん

ました。お母さんは静岡に生れ育ったのですが、まだおさなかつたので、覚えていませんでした。でも近所のおじさんたちは、川からい体をあげて運んだこと、とてもおそろしかったことをよく覚えているようです。ぼくは、なぜこんなおそろしい所に住んでいるのかなとき間をもちました。お母さんにどうしてかと聞いてみると「やはり住みなれた所なのですぐに引っこそうとは思えないんじゃないかな。」と答えました。ではお母さんはなぜこの梅ヶ島に住み始めたのか、こわくないのかと思ひ聞いてみました。すると「いろいろ土砂災害を防ごうと多くの人が働いているので心配はあまりしていない。」と言いました。お母さんのおじいちゃんやおばあちゃんは、むかしの梅ヶ島を知っているの、こわいからと家に遊びに来てくれません。でも、お母さんは道路もずいぶんよくなっているし、大丈夫だと言っています。

ぼくの家は近くに、砂防えん堤ができました。上から見た時はあまりにも大きくて立っているのがこわかったです。でも土砂がくずれてきたら、いっばいたまってしまうそうです。このえん堤がなかったら、ぼくの家は土砂にうまってしまいます。だからぼくは作ってくれた多くの人に感謝しています。そして、もしも土砂くずれが起きたときは、一人でも多くの人が力を合わせて、助け合っていくことが大事だと思います。電気が使えなくなって困った時、おたがいに協力して連絡をとったり、はげましたりしたので心強く感じました。ぼくは小学校の高学年になったので、近所の人が困っていたら助けてあげたいと思います。

ぼくが生まれ育ったこの場所がいつまでも自然豊かなふるさとで自まんでる所であってほしいです。だから、土砂災害を少しでもなくすように協力していきたいです。

裾野市

建設管理課

裾野市は、静岡県東部の富士山のふもとに広がり、富士山をはじめ、東には箱根外輪山、西には愛鷹連山の裾野に位置するまちです。市域の南北に黄瀬川が流れ、その周囲の平地に市街地が広がっています。

最高地点は富士山の宝永火口の下で標高2,169m、一番低い地点は標高78.5mです。標高差がありますが、気候は比較的温暖です。

豊かな自然と田園風景が広がる一方、産業集積が進み、地域経済をけん引する経済力を持ちます。豊かな自



パノラマロードから見える富士山



富士裾野高原マラソン

然がある、東京から100km圏内の特別な田舎です。

世界遺産富士山の構成資産「須山浅間神社」や世界かんがい施設遺産「深良用水」など世界的な遺産があります。富士サファリパークやスノータウンイエティ、遊園地ぐりんぱなど家族で楽しめるレジャー施設があります。

毎年5月には、富士裾野高原マラソン大会が裾野市運動公園周辺で行われ、全国各地、世界各地から約4,000人のランナーが富士の麓を駆け抜けます。

湖西市

土木建設課 主事 柴田 優

湖西市は、静岡県の最西端で愛知県との境に位置し、汽水湖である浜名湖に囲まれ、太平洋にも面した水産資源が豊かで温暖な気候のまちです。

浜名湖が太平洋と接する、今切口のすぐ西側にある浜名湖今切パークは、海にちなんだ各種の体験ができる海湖館、バーベキュー場、海釣り公園があり、海釣り公園では浜名湖の魚の種類の豊富さを活かし、一年を通して釣りを楽しむことができます。今切パークの西側には、約500mの砂浜を利用した海水浴場もあり、これらを合わせることで様々なニーズに応えることのできる絶好のマリンレジャースポットになっています。

また、江戸時代から300年以上続いている諏訪神社奉納煙火は、勇壮な祭りとして広くその名を知られています。毎年7月下旬の金、土曜日に行われる本行事では、花火製造から火薬詰めまで祭りの参加者が全て行い、二晩で約2,000本もの手筒花火が消費されます。男たちが手筒花火を抱えて踊り歩く力強さと、手筒花火が闇空を橙色に染め上げる美の共演は、見た人にとって忘れられない光景になること間違いなしです。

ここで取り上げたのは、これからの時期に向けた魅力のほんの数例であり、湖西市には四季折々に合わせたお勧めの行事や観光地が多くあります。是非皆様も湖西市にお越しください



海釣り公園



諏訪神社奉納煙火の様子

第1回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会

1月12日(木)に第1回伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会を、伊東市役所で開催しました。

火山噴火緊急減災対策砂防計画の検討には、砂防学、火山学に関する高度な学術的・行政的判断が必要であるため、学識経験者並びに行政担当者から構成する「伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会」を設置しました。

今回の検討会では、静岡大学農学部の土屋教授を会長に選出し、砂防計画の前提条件や検討方針について、議論を行いました。今後も年2回程度開催し、平成30年度末を目途に火山噴火緊急減災対策砂防計画を策定していく予定です。



検討会の様子

第5回酒匂川・鮎沢川総合土砂管理推進連絡会議

2月7日(火)に、酒匂川・鮎沢川水系の河川、森林、砂防、ダム、堰、海岸等の管理者及び関係地方公共団体等による「第5回酒匂川・鮎沢川総合土砂管理推進連絡会議」が、小田原合同庁舎で開催されました。

この会議は、神奈川県が平成24年度に策定した「酒匂川総合土砂管理プラン」を受けて、治水・利水安全度を向上させながら、生態系に配慮した酒匂川水系の土砂環境の改善を目指すことを目的として平成25年度に立ち上げられ、上流域の静岡県も参加しているものです。今回の会議では、今年度の流域内の土砂環境や各事業機関の対応についての報告がありました。

水害・土砂災害等への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会

2月14日(火)から3月16日(木)にかけて、県内の4地区において「水害・土砂災害等への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向けの説明会」が開催されました。

本説明会は、平成28年8月に東北地方に上陸した台風10号に伴う豪雨により高齢者施設で9名が犠牲となった浸水害を踏まえて、国土交通省が厚生労働省や都道府県と連携し、全国で開催しているものです。

説明会では、各行政機関が発信している防災情報の活用方法が説明されるとともに、施設管理者による避難確保計画の策定の推進が呼びかけられました。



国土交通省の説明を聴講する参加者(静岡市民文化会館)

第57回砂防および地すべり防止講習会

2月16日(木)・17日(金)に、「第57回砂防および地すべり防止講習会」が砂防会館別館(東京都)で開催されました。

講習会に先立ち行われた赤木各賞の授与式では、「立木対策技術指針(案)」を策定するなどの功績のあった石川芳治氏(東京農工大学大学院教授)へ赤木賞が授与されました。

講習会では、石川芳治氏の特別講演「土砂災害の現場から学んだこと」をはじめ、西山砂防部長の「これからの砂防行政の展開」など、幅広い分野の講演があり、今後の砂防事業の展開に関する話題提供がありました。また、加藤山形県大蔵村長の「平成24年肘折地区土砂災害の教訓と復興」では、平成24年に発生した土砂災害の対応について、村からの避難指示の発令や住民との対話状況等、災害の実体験をもとにした講演がありました。



第7回富士山火山防災対策協議会

3月24日(金)に火山専門家、国、静岡・山梨・神奈川県、市町村等の90を超える関係機関による「富士山火山防災対策協議会」が沼津市のプラサヴェルデで開催されました。

当協議会は平成27年の活火山法の改正を受けて、昨年度、法定協議会に改組されたもので、今回は平成28年度の協議会の事業報告、平成29年度の事業計画(案)、「富士山広域避難計画」の改正について説明があり、了承されました。

また、避難確保計画の作成にあたり、事務局から協議会の統一基準についての提案があり、了承されました。



協議会の様子

上田町特定利用斜面保全事業の工事に着手

湖西市の「上田町」地区において、特定利用斜面保全事業の工事に着手しました。特定利用斜面保全事業とは、急傾斜事業とその他の公共公益事業との調整によって、より望ましい斜面空間利用の誘導を図る事業です。「上田町」では急傾斜事業の切土工や法面工等にあわせ、避難地及び避難路を整備する湖西市の開発事業を併せて実施しています。当面は切土工に必要な仮設の工事用道路の工事を実施し、平成29年度中に本体の切土工に着手する予定です。工事の完成は平成30年度を予定しています。



上田町の状況

口坂本No.2 地すべり対策技術検討会

3月28日(火)に、口坂本No.2地すべり対策技術検討会を現地及び県庁別館で開催しました。

口坂本No.2は、静岡市葵区口坂本の坂本川4号砂防堰堤の上流に位置する地すべり防止区域で、顕著な地すべり変状が発生し、下流域への影響も大きいことから、早期の対策が必要とされています。

検討会は、静岡大学の土屋智教授と国立研究開発法人土木研究所の石井靖雄上席研究員及び県で構成し、現地の調査やボーリングコアの確認を行い、その後、地すべり機構およびその対策工法について審議しました。

審議した地すべり対策工事については、早期の発注、完成を目指します。



現地調査の状況



検討会の様子

募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・作文を募集します。募集要領については、各小・中学校へ送付しますが、下記でもご覧いただけます。

【募集対象】 小・中学生 【応募期間】 6月1日(木)～9月15日(金)

【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記してください。

【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課 砂防班

TEL(054)221-3044 FAX(054)221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第10回 親子で大谷崩れの森づくり

日本三大崩れの一つでもある大谷崩れ。今から300年程前の宝永地震によって崩壊したと言われています。本来の自然を取戻すべく今もなお様々な工法によって緑化が行われています。今回は、この大谷崩れにみなさんの手で植樹し、植樹を通じて自然・山・水に触れて「いのちの大切さ」を学ぶことの出来る体験への参加をお待ちしております。

【募集人員】 60名 【日時】 平成29年6月11日(日) 9:00～16:00(小雨決行)

【参加費】 無料(昼食は各自用意してください) 【集合】 静岡駅北口 8:45

【問合せ】 いのちの森づくり静岡少年団を支援する会 TEL(054)246-7767

土木事務所企画班砂防担当者の紹介

県砂防課では、出前講座および講習会を随時受付けております。

事務所	企画TEL・FAX	担当者
下田土木	TEL:(0558)24-2113 FAX:(0558)24-2123	井邑悟史 山田紘子
熱海土木	TEL:(0557)82-9172 FAX:(0557)82-9110	北川裕人 永田浩司
沼津土木	TEL:(055)920-2212 FAX:(055)922-6684	藁科彰良 梶原大督
富士土木	TEL:(0545)65-2794 FAX:(0545)65-2270	本橋央行

事務所	企画TEL・FAX	担当者
静岡土木	TEL:(054)286-9322 FAX:(054)286-9375	久木田真次 山下高詳
島田土木	TEL:(0547)37-5272 FAX:(0547)37-6183	平野秀直
袋井土木	TEL:(0538)42-3216 FAX:(0538)42-1782	水野良幸
浜松土木	TEL:(053)458-7266 FAX:(053)458-7193	清水康弘



【表紙写真】

峠の色彩 (撮影地:静岡市)

福中 綾子さん

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

平成29年度がスタートしました。

この4月より砂防協会事務局員としてお仕事をさせて頂くことになりました。

『砂防だより』の編集作業を通じて砂防について勉強しながら、皆様のお役に立てる誌面づくりを目指していきたいと思っております。

今年とも『砂防だより』をご愛読いただきますようお願いいたします。

砂防協会事務局員 谷口友香

砂防だよりは砂防課ウェブサイトでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第192号 発行日:平成29年4月15日

編集・発行:全国治水砂防協会静岡県支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内

TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sabo@pref.shizuoka.lg.jp